

和田さんをはじめお世話になった看護師さんへ  
拝啓。

梅雨に入り、うとうとしい毎日が続いています。  
皆様におかれましてはご多忙な日々をお過ごしのことと拝察申し上げます。

母が天国へ旅立って早、一年が経ちました。  
母が療養中の時は、和田さんをはじめ看護師の  
皆様には大変お世話になりありがとうございました。  
時だけが進み、まだ実感が湧かず、どこかにまだ、  
母がいるんじゃないか? という日が続いています。  
病院の先生からガン(悪性)と聞き、全くその時は、  
信じる事ができず、受け入れる事ができませんでした。  
きっと、母も受け入れなかつたはずだと、

けど、闘病中もキツかったはずなのに笑顔で、一度も  
キツイなど言わず、弱者も言わず、母は最後まで和連  
家族と過ごしてくれました。

時には、私とケンカをしたり怒られた事もありました。  
何で、私はもっと優しくしてあげなかつたんだろう。  
何で素直にならなかつたんだろうと今になって思います。

母は家が好きで、病院に入院中には  
「早く家に帰りたい」と言っていました。

生前から、死ぬなら家で看取りたいと言っていたので、  
最後、大好きな家で家族親族に看取られたのは、  
母にとって幸せだったと思います。

在宅療養中は、毎日看護師さんが訪問して下さり  
母と楽しく話したり、身の回りのお世話や、私一人では  
出来ない事を手伝って下さりと大変助かりに強かったです。  
ありがとうございます。

私も少し介護の事を勉強、現場で働いていた事も  
あり、勉強しといて良かった。少しだけでも経験として  
良かったと、母の介護をして身に深めました。

ちゃんと出来ていたかは、分かりませんが...

毎日来てくれる看護師さんに分からない事など聞くと  
分かりやすく、親身になって教えてくれたり、

母のガンの事をもっと詳しく知る為に色々  
調べた下さり、母も私もとても喜しかったです。

最後、母の大好まな自宅で看取った後、  
看護師さんが、エンゼルケアをして下さっている時、  
見守っている私と、妹に「最後、お母さんを綺麗に  
（あげよう）」と声をかけて下さり、一緒に体を拭いて  
あげたり、母のお気に入りだった服を果せてくれたり、  
お化粧をしたりと最後まで一緒にあって寄り添って  
下さり、すごく喜んで感謝しています。

本当にありがとうございました。

療養中の中で、受けた親身になって温かく寄り添って  
下さる和田さんや看護師さんの献身的な看護の  
おかげで母は悔なく天国へ旅立つ事が出来たと  
思います。

初めて日常の幸せと健康へのありがたさを噛みしめる  
とともに、改めてお礼を申し上げたくパンを執りました。

お世話しになり、本当にありがとうございました。

皆様から元々身体が気をつけてお仕事頑張る下さい。 敬具

PS 娘はもうすぐ2歳になります☆毎日育児に奮闘中です!!

令和4年6月22日

江口萌絵